



せんがんえん

## 仙巖園前交差点 左折レーン供用の整備効果について（速報）

○令和6年3月4日（月）に供用しました国道10号仙巖園前交差点の左折レーンについて、整備効果（速報）をとりまとめましたので、お知らせします。

### ◆効果①：交通安全の向上

指標：急ブレーキ回数

50.1回/万台 ⇒ 29.6回/万台

※約4割の減少

### ◆効果②：渋滞の緩和

指標：旅行速度

18.4 km/h ⇒ 22.3 km/h

※約2割の増加

※今後も引き続き、交通状況データを収集・把握し、事業効果の分析を行って参ります。

### 問い合わせ先

国土交通省 九州地方整備局 鹿児島国道事務所

技術副所長 やまぐち みつはる 山口 光治 電話：099-216-3111（代表）

交通対策課長 しげくさ とおる 重草 通

E-mail：[gqr-kakoku-keikaku01@mlit.go.jp](mailto:gqr-kakoku-keikaku01@mlit.go.jp)

URL：<http://www.gqr.mlit.go.jp/kakoku/>



# ◆効果①：交通安全の向上

## 対策前

### 現況課題

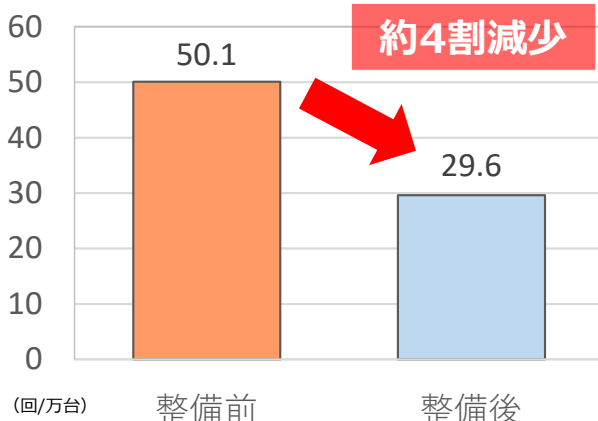
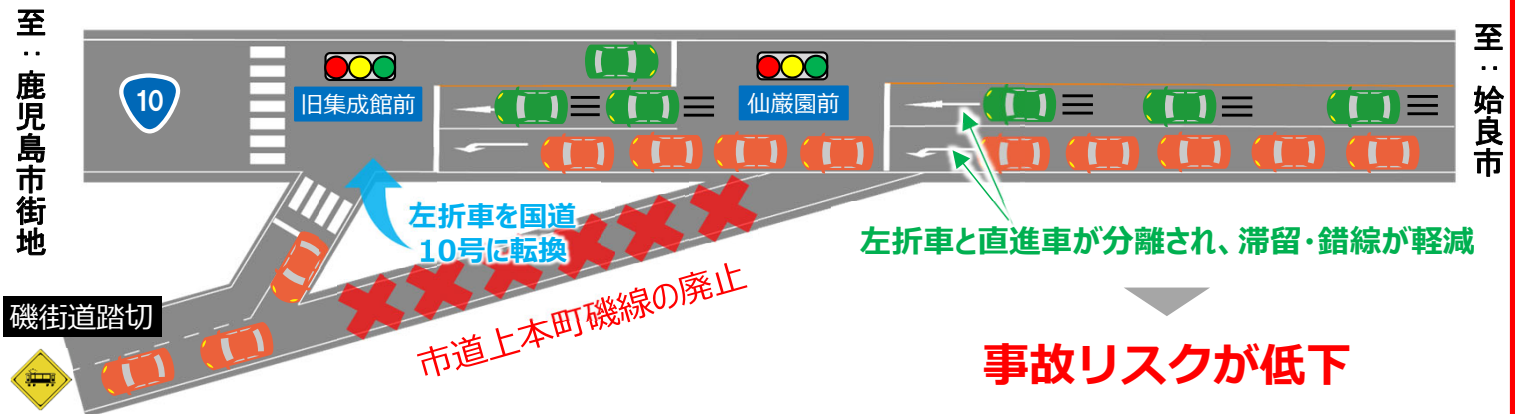
- ・ 左折車と直進車が同一車線に混在
- ・ 左折車渋滞により、直進車のすり抜けや短い車間距離で発進停止が繰り返されることで、追突事故等が発生



## 対策後

### 整備効果

- ・ 直進車と左折車の分離により錯綜・滞留が軽減
- ・ 当該区間における危険挙動（急ブレーキ）の発生頻度が低下



出典：ETC2.0データ 5～24時  
仙巖園交差点下り流入部50mの範囲で集計  
整備前：R6.2.26(月)  
整備後：R6.3.4(月)

▲急ブレーキ発生頻度

# ◆効果②：渋滞の緩和

## 対策前

### 現況課題

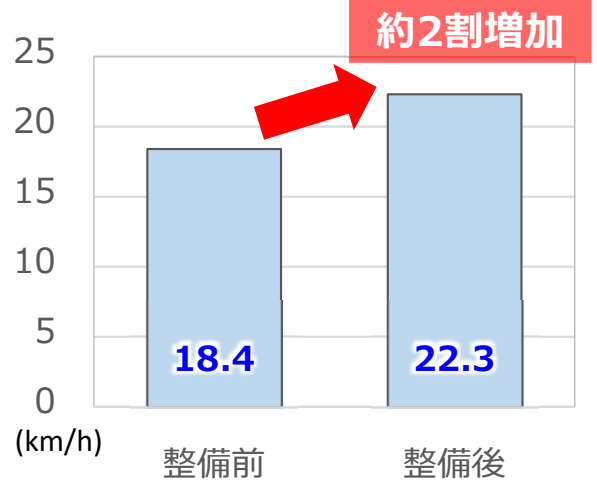
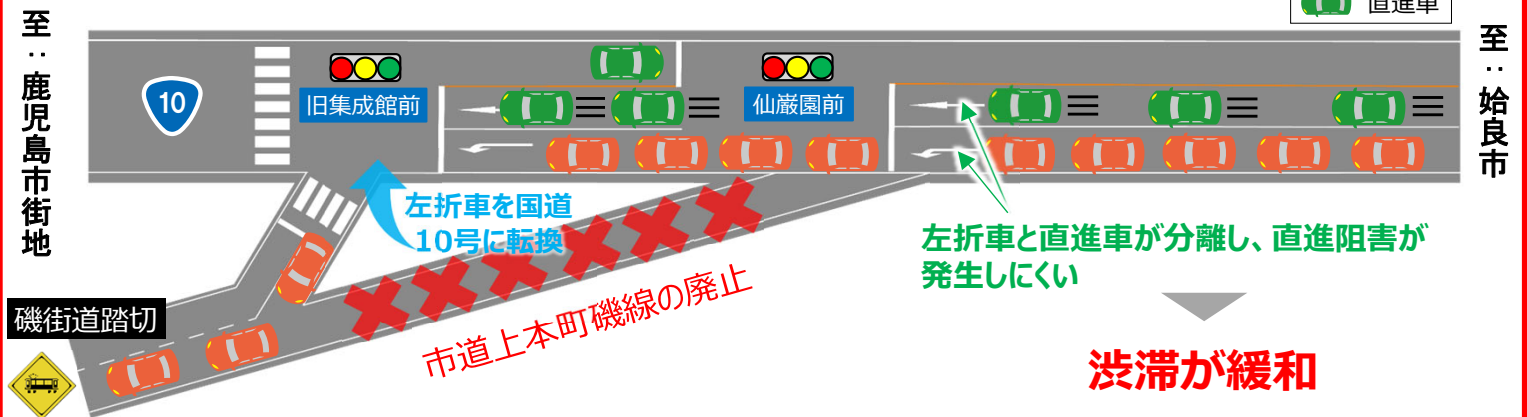
- 左折車と直進車が同一車線に混在
- 左折車の容量超過及び、左折車両の直進車阻害による渋滞により、通過に時間を要していた



## 対策後

### 整備効果

- 直進車と左折車の分離により直進阻害が緩和され、渋滞が緩和
- 上記に伴い、旅行速度が改善



▲旅行速度計測区間

※国土地理院地図を加工して作成

▲旅行速度

出典:ETC2.0データ 7~9時 左図区間にて集計  
 整備前: R6.2.26(月)  
 整備後: R6.3.4 (月)



# 交通切替後の国道10号仙巖園前交差点の状況

令和6年3月4日 8時撮影



至 鹿児島市

至 鹿児島市街地

仙巖園前

旧集館前

至 磯街道踏切

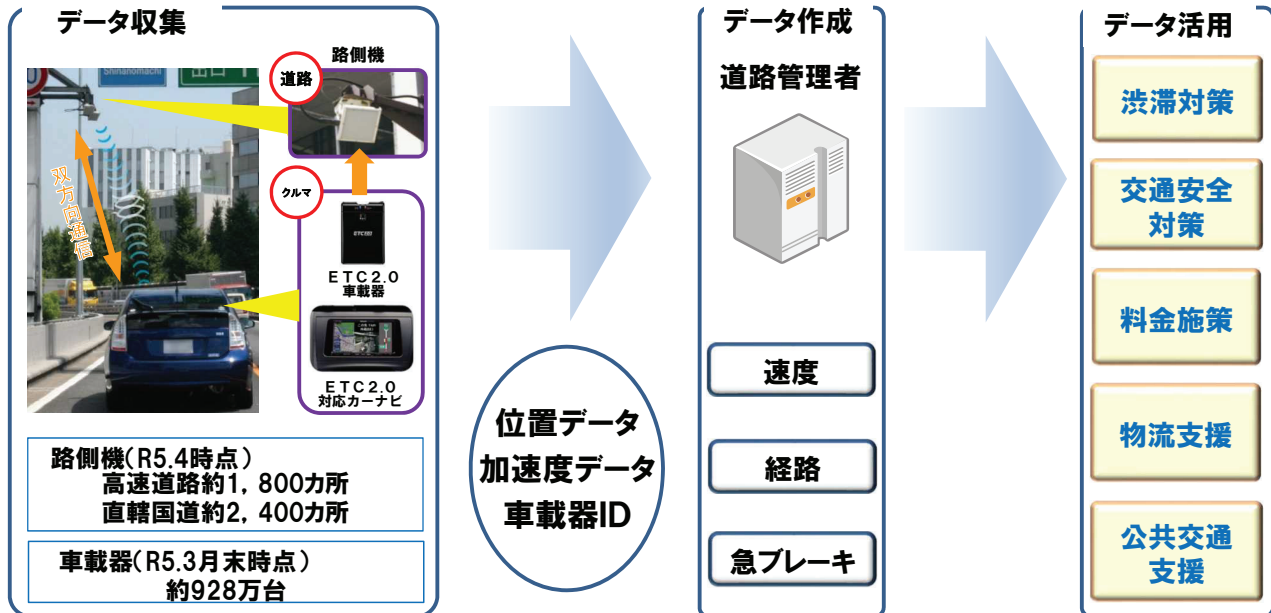
左折レーン設置 約200m



これまでのETCと比べて、

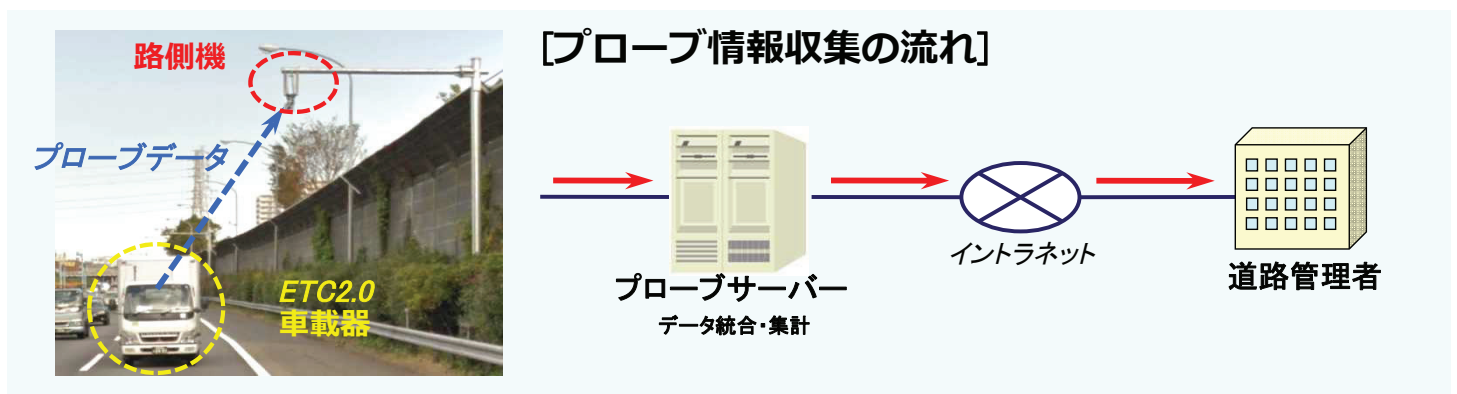
- ・大量の情報の送受信が可能となる
- ・ICの出入り情報だけでなく、経路情報の把握が可能となる

など、格段と進化した機能を有しており、道路利用者はもちろん、道路政策に様々なメリットをもたらし、ITS推進に大きく寄与するシステム



## ETC 2.0より収集されるプローブ情報の収集

○プローブ情報はETC 2.0車載器(対応カーナビ)に蓄積され、車両が路側機の下を通過するときに、プローブ情報が吸い上げられる



### 収集されるデータ:

- ・ **走行履歴データ:** 時間, 位置(緯度, 経度), 速度 等  
→ 走行距離200m毎 または 進行方向が45度変化した場合に記録
- ・ **挙動履歴データ:** 時間, 前後左右の加速度, ヨー角速度 等  
→ 加速度が0.25 G以上 または ヨー角速度が±8.5 deg/s以上変化した場合に記録